

保護司国際研修に参加して

東京保護観察所立川支部 保護司 山本 良子

2014年5月19・20日、1泊2日で保護司国際研修に参加をさせていただきました。国連アジア極東犯罪防止研修所（アジ研）が開催する第157回国際研修の期間中に実施されたものでした。私の所属する調布・狛江地区（東京）に、第一回保護司国際研修に参加された大先輩がおり、その方からのアドバイスも受けて出席致しましたが、主要課題が「特別の配慮を要する犯罪者アセスメント及び処遇」であることを踏まえ、私は精神障害を持つと思われる保護観察対象者を事例として発表することにしました。

1日目は、アジ研1階のセミナールームにてオリエンテーションを受けた後、2階の国際会議場で意見交換会が行われました。国際研修への参加に憧れていた私でしたが、事例発表が最初でしたので、大変に緊張しました。私の席向かい前列に、アフガニスタン、ブラジル、ケニア、ミャンマー、ナウル、タイ、香港、韓国の研修参加者の方々、後列に海外の客員専門家や日本の研修生の方々が、合わせて20名ほど在席していましたが、皆様のお顔が判らない程の緊張で、雰囲気を楽しむには時間を要しました。的確な同時通訳が入ることで、事例発表や質問の答えを無事終えました。夕食会や懇親会では近くの方々が通訳をしてくださいましたので皆さんと楽しい時間を共有できました。

2日目はカナダのフランク・ポポリーノ博士の講義を受けました。高齢犯罪者は、先進国のみならず、発展途上国に於いても顕在化しつつある問題と提起されました。日本では65歳以上が高齢者と言われますが、海外では各国の平均寿命が短いために、一定の年齢に達すると恩赦や仮釈放になるなど、参加した各国と日本の違いに驚くことも多かったです。

昼食時に光栄にもポポリーノ博士の近くの席に座ることになり、自分の英語力の無さからご挨拶程度に終わってしまいましたが、直接お話しできたことは嬉しい思いでした。

研修後、アジ研赤根所長室で懇談会・修了証書授与式があり、立派な修了証と記念品を頂きました。国際研修に関わるスタッフの皆様、UNAFEIの全ての方々に感謝とお礼を申し上げます。夢の2日間でした。